

11/11

緊急
勉強会!

レバノンの今・・・ 戦争が市民に残したものの

北朝鮮による核実験をマスメディアは繰り返し報道し、恐怖をあおっていますが、本当に戦争によって被害を受けている人々が世界中にはたくさんいることをご存じですか？！

戦争の恐ろしさは、被害者の痛みを知る事でより鮮明になります。
イラク、そしてレバノン現地でその様子取材した西谷さんのお話を
お聞き下さい。

お 話: 西谷 文和さん イラクの子どもを救う会 代表

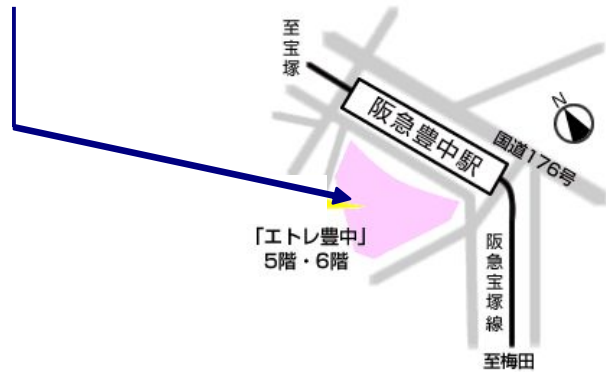
聞き手: 神原 宏一郎 前向きひろば 代表

日 時: 2006年11月11日(土) 14:00~16:00

会 場: 『すてっぷ 5階セミナー室 B』

TEL: 06-6844-9772
豊中駅前・西口すぐ
“エトレとよなか”ビル

参加費: 500円(学生無料)



前向きひろば ~Positive Square~

選挙に行こう2007 in 豊中 “Shall we vote?”

連絡先: 神原 宏一郎

090-9877-4948 young_spiritjp@yahoo.co.jp

興味・関心がある方は、
ぜひお手伝いもお願い
します!!
ご連絡お待ちしております。

プロフィール紹介

■西谷 文和(にしたに・ふみかず)



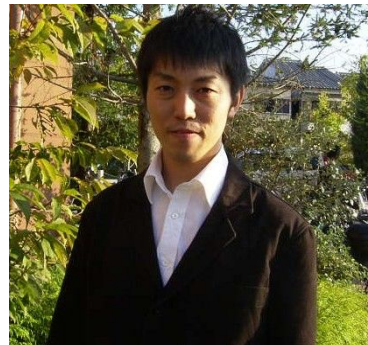
吹田市役所に勤務。2005 年に退職。現在「イラクの子どもを救う会」代表。ジャーナリスト。

これまで、カンボジアでポルポト派、ボスニア停戦直後のサラエボ、NATO空爆直後のコソボなどを取材。

「メディアは攻撃する側の情報ばかりを流す。普通の市民のことが知りたい」と、空爆を受けた現場などを歩き一般市民と同じ目線で戦争の悲惨さを報告し続ける。イラクへは二度に渡り訪問。湾岸戦争、イラク戦争で大量に使用された劣化ウラン弾の被害の実態を取材。市役所を退職後は大阪を拠点に各地で約 200 回の講演をするなど平和活動を続けている。現在 中東と日本を行き来する日々。そして、今回 9 月下旬から 10 月にかけて、レバノンを訪れ、イスラエルによる攻撃の被害の実態を取材する。

[イラクの子どもを救う会 HP]
<http://www.geocities.jp/nowiraq/>

■神原 宏一郎(かんばら・こういちろう)



大阪府立大学在学中に政治に興味を持ち始め、2003 年豊中市長選挙、市議会議員選挙を始め数回、ボランティアとして選挙に携わる。

若者の政治参加を促す為に、2003 年の統一地方選挙の際に「選挙に行こう 2003」を発足。数人の学生とともに街宣、イベントを行う。

2003 年のアメリカのイラク攻撃反対デモや、アメリカ総領事館前での座り込みによる抗議運動に参加する。

英国留学中の 2005 年、イギリス下院議員選挙にボランティアとして参加する。同年、イギリスでイラクに従事するアメリカ軍、イギリス軍、自衛隊の早期撤退を求めるデモに参加する。

現在、前向きひろばの代表としてイベントの企画や運営などなど日々奔走・奮闘中。

[前向きひろば H P]
http://www.geocities.jp/positive_square/

前向きひろばのちょこっとメモ☆

レバノンって
どんな国??

国名:レバノン共和国
面積:1 万 400km² 岐阜県とほぼ同じ
人口:約 370 万人
首都:ベイルート

